



ROTARY CLUB OF

NARA - WEST

DISTRICT WEEKLY BULLETIN
2650 No. 2537

2025. 3. 13

創立 1969年(昭和44年)12月13日
例会日 毎週木曜日18:00より
事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地
例会場 奈良ロイヤルホテル内
TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

2024~2025年度
国際ロータリーのテーマ

2024~2025年度
地区のスローガン



持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動
Make Rotary Sustainable! Learn together Act together



霊山寺 ミスティパープル
(写真提供: 東山理事)

国際ロータリー会長
ステファニーA.アーチック

RI第2650地区ガバナー
中本 勝

会長 佐川 寛一	副会長 安井 清悟	会長エレクト 杉村 仁	幹事 木村 和弘	会計 松中 隆
会場監督 岡崎 義幸	理事 寺田 信弘	理事 東山 光秀	理事 井上 直治	理事 杉村 仁
理事 川崎 祥記	会報委員長 東山 光秀			

今月は 水と衛生 月間です

第25回(2537回)例会プログラム令和7年3月13日(木)

北林P会長米寿・
ロータリアン50年
杉村P会長古希 お祝い会
ホテル日航奈良にて

第24回(2536回) 例会報告 2025. 3. 6

ソング

「君が代」「奉仕の理想」

出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通算 2536 回	23	2/2	15/21	6	73.9%
通算2534回修正	23	1/2	17/21	4	81.8%

会長の時間 (佐川会長)

会員の皆様、今晚は、奈良交通相談役の植田会員と交代致しまして、奈良交通代表取締役社長の田中会員の入会式が本日もちまして無事に終わり、正式に奈良西ロータリークラブの一員になりました。心より感謝致します。また、会長の時間に引き続き、新入会員の卓話がございます。杉浦会員のお話、楽しみにしております。

さて、皆様、ご存知と思いますが、佐川年度の概況報告書の厚紙の表紙の裏面には、ロータリーの4つの目的が載っております。最後の裏の面には、ロータリーソングの歌詞とロータリーの4つのテストを記載しております。また、会員名簿にも、同じ様に記載しております。

このロータリーの目的は、簡潔に書かれた素晴らしい目的であります。我が国では国際ロータリーの目的が日本語訳されておりますが、ほぼ直訳に近いと思われます。私的には文章が窮屈すぎて肩がこる様な感覚になり、次に読む機会があるのだろうかと言う感覚にもなります。ですので、もっとわかりやすく、かみ砕いて、抑揚をつけて述べたいと思います。

ロータリーの目的は、何ぞや？と問われると、私は以下のように答えます。社会奉仕と言う目的で集まった社会的に認められた各業界のトップクラスの方々達と共に、人としてあるべき、本来の姿を思考し、叡知に満ちた会員と共に、自分の内面に更に磨きをかけ、自己成長する場が、ロータリーの例会や奉仕活動であると思います。具体的に申しますと、ロータリーに入会すると、役が付きます。各部門では、話し合いが行われます。自分の周りの会員の方達を尊重しつつ、自分の考えや意見、希望などを自分らしく表現して頂き、和気あいあいとした雰囲気をつくりながら、どのように社会貢献していくのかを話し合い、また、ロータリアンは、人と人の橋渡しをする事によって、多様な価値観に積極的に触れて、視野を広げてこそ、公平さと公正性を養っていき、それが平和に繋がり、また、ロータリーの活動の役どころの中で、会員同志、例会も含めたロータリー活動でつちかった価値観を共有して、親睦を深めながら、ロータリーの友情を何年もかけて、海溝よりも深い友情の構築を目指し、自分のあるべき姿を見つめ直して研鑽していく、これが正に、【ロータリーの道】、「これでいい」と言う人生では無く、「これがいい」と言える悔いのない人生にしたいものです。

ロータリーの道は、更なる自己の成長に繋がり、確固たる自分軸を形成しながら、周りとの調和し、それを自分の職業に生かし、更に、心豊かな人生を築いていく事

会長の時間(続き)

がロータリーの活動の核となる考えになるのではないだろうか。と解釈致します。会員の皆様、この解釈、如何でしょうか？

会員の皆様、佐川年度のテーマ【和を以て、輪と成す】を、後半も念頭において頂いて、毎週の例会を、日頃の生業でお疲れになった心と体を癒せるような、また、楽しく、笑顔になれるような聖地にしていこうではありませんか！

ニコニコ報告

佐川寛一会長

新入会委員 田中様 入会おめでとうございます。
南都銀行 杉浦会員 卓話楽しみにしております。
早々に卓話の準備ありがとうございます。

北林秀彦P会長、東山光秀会員、小松玲子会員、 加藤又拓会員

田中様 ご入会おめでとうございます。どうぞよろしく
お願い致します。杉浦会員 卓話楽しみにしています。

佃尚彦P会長、下村由加里会員

田中様 ご入会おめでとうございます。よろしくお願
いします。杉浦会員 卓話楽しみに参りました。東山会
員 昨日は雨のコンペお疲れ様でした。楽しかった。
ニコニコ

田中耕造会員

はじめまして。この度、奈良西ロータリークラブに加
えていただきました、田中耕造です。人との出会い、
仕事の機会を通じて、奉仕の精神の涵養に努めま
すので、ご指導よろしくお願い申し上げます。

新入会式



田中耕造会員、ご入会おめでとうございます。

会員の誕生日祝



■3月生まれ■

井上 直治会員 3月16日生まれ
下村由加里会員 3月22日生まれ

皆様おめでとうございます！

卓話

「新入会員卓話」

杉浦 剛 会員

南都銀行の杉浦でございます。昨年9月に入
会させて頂きましたが、4月に開催されます地区
大会での新会員セミナーへの参加も通じ更に
理解を深めて参りますので、引き続きご指導の
程、宜しくお願い致します。

現在61歳で、天理市で生まれ今も住み続けて
おります。昭和61年に南都銀行に入り勤続は39
年になります。営業店や本部など13か所で勤務
し、期間は短くて1年、長くて8年と様々ですが、
家族は勿論のこと、多くの方々に支えられ今に
至っております。

南都銀行は、昭和9年に六十八、吉野、八木、
御所の4行が合併し設立され、昨年6月に創立
90周年を迎え、2月10日には大宮町に本店を移
した所でございます。

旧本店の三条通り側の建物は、六十八銀行
の奈良支店として大正15年に建築され今年で
99年、来年には100年を迎える登録有形文化財
に指定された歴史的建物です。旧本店の利活
用につきましては、奈良の発展に資するもの
になるよう現在検討を重ねており、具体案が決ま
りましたら改めてお知らせ致します。

本日はこのような機会を頂戴致しましたので、

我々の本業の一つである地域活性化への取り組みをご紹介したいと思います。

まず奈良県の現状を簡単にご説明致します。GDPはおよそ3兆7,000億円、その構成は観光業などの3次産業が3/4を占める一方で、1次産業は0.5%程度と低位の状況にあります。

また奈良県の人口推移は、1999年の145万人をピークに減少の一途を辿り、今年2月で128万人まで減少し、国の推計では2045年、今から20年後には100万人を下回ると予測されています。

更に奈良県を「産業・経済」、「人材資源」、「観光」の3つの分野に分類し、その主な構成項目で全国順位を見ますと、「産業・経済」分野では、GDP、民間事業者数、従業者数の項目で、それぞれ37位、40位、37位。「人材資源」分野では、県内就業率45位、「労働力人口に占める女性の就業率」は全国最下位。「観光」分野では、訪日外国人数が7位ながら、消費額は20位。近年の観光消費額は1,600億円弱で、1人あたりでは、宿泊客で約27,000円ですが、日帰り客では約3,900円と低くなるのがその要因です。

限られた項目ではありますが、奈良県の現状について少しご理解を頂けたと思います。人口減少を食い止めることが難しい中で、地域活性化には行政との連携に加え、地域の理解を得た上で、点から面への取り組みを進めて行く必要があると考えております。

1次産業は、GDPに占める割合が0.5%程度と低く、事業の高度化に加え、付加価値を高める為、海外需要を踏まえたマーケティング、商品開発や販路開拓への取り組み。またGDPの3/4を占める3次産業では、優位性のある観光資源を活かした取り組みなど、それぞれ具体化していく為、2021年に「地域活性化事業会社」を設立し課題解決に向け取り組んでおります。

新会社の名称は、「奈良みらいデザイン」で、事業領域は、「農業」、「観光・まちづくり」、「EC及び情報発信」の3事業で、「農業」では、持続可能なビジネスモデルを目指したパイロットファームの運営と共に、農業を産業として持続させるための取り組み。「観光・まちづくり」では、滞在型・周遊型観光地を目指した拠点整備の取り組み。「EC及び情報発信」では、県特産品のPRを目的としたECサイトの運営と共に、観光情報を発信するメディアの運営への取り組みを進めておりますが、この3事業について、具体的事例も交えながらご紹介致します。

まず1つ目の事業、「農業への取組」をご紹介致します。奈良県の農業産出額は全国45位で、46位は大阪、47位は東京と、主要都市圏に次ぐワースト3であり、農業を持続可能なものとする為、地域連携と組織化による大規模化、高度化への取り組みを進めております。

具体的には、宇陀市の笠間地区で、近隣農家の協力も得ながら3haほどの圃場で、有機米の栽培、6次化商品の開発、アイガモロボやIoTを含む先進技術の導入、宇陀市との連携による循環型農業の実証事業への参画など多くの施策に取り組んでおりますが、その中から事例を2例ご紹介致します。

1例目は、6次化商品としての日本酒の開発です。宇陀市で栽培した酒米を地元の酒蔵、酒販会社などの協力を得て、「大和牛や、大和ポークなど“肉に合うお酒”」をテーマに日本酒を開発し、ブランド名は、土地の名をとり、「笠間」と名付けました。百貨店や高級ホテル、ミシュランレストランを中心に、現在40以上の店舗で採用頂いております。初年度に製造した3,000本は完売し、現在販売している新酒についても好評を得ていることから、日本酒ブームとなっている海外展開も視野に入れ、関係各位と協議を重ねている所です。

2例目は、「畜産堆肥」のペレット化事業です。奈良県の肉用牛の8割を生産している宇陀市の畜産農家の協力を得て、牛糞堆肥のペレット化の実証実験に参画しております。畜産事業者にとっては廃棄物となる牛糞が収入源となり、農家においては安定価格で肥料が調達でき、作物の品質・収量の向上が見込まれることから、宇陀市や奈良県、地元畜産事業者と共に、「コンソーシアム」を立ち上げ、早期の事業化を目指している所です。

次に奈良みらいデザインの2つ目の事業、「観光・まちづくりへの取組」をご紹介致します。奈良県が、全国屈指の観光県であることは言うまでもなく、観光客数はコロナ禍前の2019年には4,500万人を超えておりましたが、その後、コロナ禍で大きく落ち込んだものの以降は持ち直し、2023年には、4000万人程度まで回復してきております。

一方、宿泊客室数は2023年で10,000室強と増加基調ながら全国43位。宿泊稼働率は45%、40位と低位にあり、宿泊者数は264万人に留まっています。

奈良県の観光地特性は、「大仏様を拝観し」、「奈良公園の鹿と遊ぶ」という立ち寄り観光地の印象が強く、「1日では回りきれない」、「ゆっくり滞在して楽しむ場所」としての認知度を、一層向上させていく必要があります。課題は人流にあることから、県全域を週遊するような滞在型観光地に変えることを目指し、観光地の整備に取り組んでいます。具体的には、県北部において、歴史的町並みが残る「ならまち」で、旧酒蔵をリノベーションした「NIPPONIA HOTEL 奈良ならまち」、また若草山麓での、ミシュラン一つ星を獲得したレストラン「コムニコ」を核とした、オーベルジュ「ピラ・コムニコ」。



卓話(続き)

中部においては、300年を超す奈良最古の醤油蔵元の旧醤油蔵を、ホテルやレストラン施設に改修した「NIPPONIA 田原本 マルト醤油」。

南部においては、御所市の「御所まち」エリアにおいて、廃銭湯「宝湯」の復活と共に、周辺古民家をホテルやレストランとして一体開発する「GOSE SENTO HOTEL」の開設といった取組みを進めております。今後も適地の選定を進めながら、奈良県の観光地を面で捉えることにより、県全域を旅行者が周遊するような仕組みづくりを進めていきたいと考えております。

続いて奈良みらいデザインの3つ目の事業、「ECサイト、情報発信の取組み」として、2例ご紹介致します。1例目は、ECサイト「ならわし」の取組みです。「なら」は奈良の地を指し、「わ」は作り手とお客様との輪を和みで繋ぎ、「し」は詞を通して魅力を伝えるという、様々な思いを込めています。単に商品を販売するだけでなく、その背景も伝えることにより、生産者や生産地域にも興味を持って頂けるようなサイト作りを目指し、菓子から日本酒、伝統工芸、社寺グッズに至るまで、現在300もの商品を取り扱っています。奈良県産品に限定したオンラインショップで、地域に精通した各営業店の行員からの情報も収集し、厳選した商品を掲載しております。

2例目は、奈良県観光情報サイト「ええ古都なら」の取組みですが、アクセス数は年間30万件に上ります。奈良の地域情報を、観光、歴史文化、グルメ、イベントなど様々な切り口で情報発信しております。

ご説明は以上となりますが、本日は、我々の地域活性化への取組みの一部をご紹介させて頂きました。奈良県における地域課題が顕著化する中、銀行業務の枠を超え、地域課題に我々自らが事業者となり、様々な取組みを進めている所です。しかしながら我々だけで全てを解決できる筈もありません。こうした取組みに共感、またご賛同いただく輪が広がりを見せ、大きな渦となることを目指し、引き続き地域課題の解決に取り組んで参りますので、今後とも宜しくお願い致します。ご清聴、ありがとうございました。

米山奨学会

3月8日(土)ホテルグランヴィア京都にて「米山奨学生終了式・歓送会」が開催され、孫宇彤さんに終了証書が授与されました。



職業奉仕講演会

3月2日(日)リーガロイヤルホテル京都にて職業奉仕講演会が開催され、下村会員、加藤会員が参加されました。



青少年交換

3月8日(土)～9日(日)、知恩院にて受入学生と派遣予定学生の合同研修会が開催され、ナタリアさんが参加されました。



第26回 (通算2538回)例会予告
例会日 令和7年3月27日(木)

卓話:「米山奨学生挨拶」

孫 宇彤 様

◎3月20日は休会です

(担当:東山・オフォス)